

2021年12月3日
西日本旅客鉄道株式会社

「瀬戸内カレッジ」成果報告会の実施について

現在、弊社はせとうちエリアの自治体と連携し、大学生が地元の方々との交流を通じて様々な体験を行い、せとうちエリアの素晴らしさを発見・情報発信する産官学のプログラム、「瀬戸内カレッジ」を進めております。このたび、以下のとおり、成果報告会を開催しますのでお知らせします。今年度はコロナ禍での取組みとして、会場の参加人数を最小限に抑えた上で、リアルとWEBを融合した形式での実施となります。

記

- 1 開催日時
2021年12月10日（金） 13時30分～17時30分 ※13:00から受付を開始いたします。
- 2 開催場所
会場：ホテルグランヴィア大阪 20F 「桐」の間
また、オンライン（Zoomを活用したWeb会議形式）でも開催します
- 3 出席者（予定）
 - ・参加大学の皆様（オンライン参加）
 - ・参画自治体の皆様（オンライン参加）
 - ・旅行会社の皆様（会場参加）
 - ・株式会社日本経済新聞社大阪本社様（会場参加）
 - ・一般社団法人せとうち観光推進機構様（会場参加）
 - ・JR関係者（JR西日本、JR四国、ホテルグランヴィア大阪、Jコミ）（会場参加）
- 4 その他
「瀬戸内カレッジ」についての概要は別紙1をご参照ください。

以上

【参考】瀬戸内カレッジについて

「瀬戸内カレッジ」は、せとうちエリアにて、参加大学生が地元の方々との交流を通じて様々な体験を行い旅の素晴らしさを発見・情報発信するとともに、各エリアの課題を掘り下げ、その解決策を企画・提案するプログラムです。今年度も昨年に引き続きコロナ禍での展開となり、各チーム分散しての現地研修の実施やオンラインでの学生と地元のコミュニケーション、WEB形式を活用した報告会の開催等、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた取組みを行いました。

1. 目的

- 自治体・企業：大学生の視点を活かした地域の課題解決による観光の活性化
 - ①観光素材（お土産、イベント、施設、二次アクセス等）の魅力の発掘・向上
 - ②学生との交流、およびそれによる新たな視点の発掘や活性化へのきっかけづくり
 - ③SNS、特設 Web サイト、新聞折込等の活用による、若者をはじめ全世代に向けた継続的な情報発信
- 大学：学生の成長機会の創出
 - ①企業、自治体、地元関係者、他大学との交流による新たな気付きとコミュニケーションスキルの向上
 - ②課題解決型の論理的思考やマーケティングの実践、プレゼンテーション・ディベートスキルの向上
 - ③プロジェクトへの参画による社会性およびキャリア意識の醸成、成長機会の創出

2. 概要

- ・テーマ：せとうちエリアにおける地元の課題を解決し、「せとうちエリアが何度も訪れたいくなる場所になること」に繋がる提案をすること
(例) お土産の提案、観光施設や宿泊施設の改善策、2次アクセスの拡充 等
- ・主催：岡山県倉敷市、岡山県津山市、岡山県井原市、岡山県高梁市、広島県呉市、広島県竹原市、広島県福山市、香川県坂出市、愛媛県松山市、愛媛県西予市、西日本旅客鉄道株式会社
- ・協力：四国旅客鉄道株式会社
- ・後援：株式会社日本経済新聞社大阪本社 広告コミュニケーションユニット
一般社団法人せとうち観光推進機構
- ・参加大学：追手門学院大学、関西観光教育コンソーシアム、関西大学、清泉女子大学、流通科学大学、和歌山大学 (2 チーム)
- ・監修：神戸松蔭女子学院大学 (2 チーム)、広島経済大学

3. 実施内容

- (1) 実習を通じた地元との交流促進
参加大学生にはオンライン交流会や現地研修など、地元の方々との交流を通じ、担当エリアの理解を深めて頂いております。
- (2) Facebook・Instagram を活用した情報発信
Facebook や Instagram をコミュニケーションツールとして活用し、「瀬戸内カレッジ」を通じて発見したことを参加大学生が主体的に情報発信することで、参加者のみならず多くの方々に、せとうちエリアへの旅行の素晴らしさを感じ取っていただく取り組みを実施しております。
- (3) 地元の課題解決に向けた企画提案
成果報告会では、参加大学生に検討いただいた、地元の課題解決に向けた企画提案を行っていただきます。優秀な提案については、表彰させていただく予定です。
- (4) 関係者による運営・サポート
瀬戸内エリアの自治体の方々にもご協力いただき、地元の情報収集や課題解決に向けたアドバイス等のサポートをいただいております。